

科目名	キャリアデザインI (基礎)	授業形態	講義
英語科目名	Career Design I	開講学期	2022年度前期
対象学年	カリキュラムにより異なります。	単位数	2単位
代表教員	平林 正樹	ナンバリング	5001
担当教員	平林 正樹、道谷 里英、四方 昌利		
<b>授業概要</b>			
全体内容	<p>「キャリアをデザインする」「社会に出る」「働くことの意味と実際」について基本的な理論と考え方を学び、それらを個人ワーク、グループワーク等によって自分事にしていきます。</p> <p>多くの方が将来、組織人になっていきますから、組織とリわけ経営組織において自分のキャリアを意図的に設計し、そのための手段を考えていくことの大切さを学びます。</p> <p>ただ、学校教育や社会教育また家庭教育とも共通の「生涯にわたって学び直していくとともに、自分の人生を自分で決定し、行動を起こすことによって自分も変え、変え続けていく」という考え方から出発します。</p> <p>グローバル化などの変化の激しい現代の中で、自己を理解し、それを基に自分の目標を設計（デザイン）し、自律した個人として行動するためのアクション・プランにまで落とし込んでいきます。</p> <p>ほぼ毎回、個人ワーク、グループ・ディスカッション、全体への発表などのアクティブ・ラーニングを体験しますので、社会に出てからも不可欠なスキルを養成します。</p> <p>この科目はグローバル社会の中で教養人として生きていくための基礎の一つとなるものですので、卒業要件として一つは必ず選択せねばならないキャリア科目群の一つです。</p>		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学で学ぶ意義を知ることができる。</li> <li>・自分のキャリア（職歴を含む人生）を設計していく考え方を身につけることができる。</li> <li>・勇気をもって一歩踏み出す力を身につけることができる。</li> </ul>		
授業の位置づけ	キャリア支援プログラム科目		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	<p>【関連するディプロマポリシー（DP）】</p> <p>DP① グローバル化が進む国際社会における人間とその社会的、文化的な営みを包括的に理解するため、自然と人間、生命と健康、人間と社会、世界と日本など国際教養に関わる広範な知識を習得し、それらを統合し、活用する能力</p> <p>DP② 自分とは異なる人間や文化を理解しようと心を開き、多様性を尊重し、寛容さを持って相互交流を図ることのできる能力</p> <p>DP③ 母語そして外国語でのコミュニケーション能力を駆使し、多様な人々と繋がり、自らの考えを論理的に説明し、相互の関係を築く能力</p> <p>DP④ グローバル市民として活躍するための基盤となる国際的な教養に加え、文化を超えて活躍できる専門性（グローバル社会、異文化コミュニケーション、グローバルヘルスサービス領域）を備え、人類が直面する問題を発見し、解決策を探る多面的かつ柔軟な思考力と行動力</p>		
履修上の注意、履修要件	<p>本学部の「キャリア支援プログラム科目」は以下の科目によって構成されており、それぞれ下記年次に履修することを前提に設計されています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・『キャリアデザインⅠ』（当科目）：1年（前期）</li> <li>・『キャリアデザインⅡ』：2年（前期）</li> <li>・『グローバルキャリアデザインⅠ』：3年（前期）</li> <li>・『グローバルキャリアデザインⅡ』：3年（後期）</li> <li>・フィールドワーク『職業選択とインターンシップ』：3年次（通期）</li> <li>・フィールドワーク『起業力養成とビジネスプラン作成』：1～4年（前期）</li> </ul> <p>※私語は禁じます。わからないことがあれば私語をせず、途中でもしどしどし質問して下さい。</p>		
<b>成績評価の方法</b>			
評価方法	平常点（60%）、期末試験（40%）を統合して評価する。		
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各回の授業から学んだこと、気づいたこと、今後のキャリア形成に参考にしたいことなどを適切な文章にして言語化できる。</li> <li>・基本用語を修得し、応用することができる。</li> <li>・授業内容を理解し、表現することができる。</li> </ul>		
<b>試験・課題等に対するフィードバック方法</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎回のリアクション・ペーパーについては、GoogleClassroomを活用してフィードバックする。</li> <li>・全員に共有すべきリアクションについては、次回の授業初めの時間に解説を加える。</li> <li>・期末試験については、試験終了後にGoogleClassroomにて正解例を共有する。</li> </ul>			
<b>テキスト</b>			
特になし			
<b>参考文献</b>			
随時紹介します。			
<b>その他</b>			
連絡先・オフィスアワー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平林正樹（m-hirabayashi@juntendo.ac.jp）：</li> <li>【前期】火曜4限、水曜3限、金曜2～4限</li> <li>【後期】火曜3～4限、水曜3限、金曜4限</li> <li>※他の時間でも対応可能な場合がありますので、前日までにメールにて連絡をいただくと助かります。</li> </ul>		

	<p>・四方昌利 (m.shikata.nv@juntendo.ac.jp) : 月曜2～5限、火曜～金曜2限。個別の時間調整も可能な場合がありますので、前日までにメールでご連絡ください。</p> <p>・道谷里英 (r-michitani@juntendo.ac.jp) : 月曜5限、水曜1～2限 研究室は第2教育棟7階で学生が入ることができないため、必ずアポイントを取ってください。</p>			
担当教員の実務経歴	<p>・平林正樹 (m-hirabayashi@juntendo.ac.jp) : 民間企業での営業職 (17年間) および人事職 (18年間) の職務経験あり。</p> <p>・四方昌利 (m.shikata.nv@juntendo.ac.jp) : 民間企業での海外営業 (3年)、人事 (28年)、高等学校英語教諭 (3年) の職務経験あり。</p> <p>・道谷里英 (r-michitani@juntendo.ac.jp) : 民間企業での営業、人事、社内カウンセラー経験 (計約16年) あり。</p>			
備考				
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	平林 正樹	キャリアとは何か		【予習】「キャリア」の自分なりの定義と「キャリア」を使った単語とその意味を調べておく (90分) 【復習】配布資料と講義内容の該当箇所を精査熟読すること (90分)
2	平林 正樹	キャリアデザインとは何か		【予習】配布資料に目を通しておくこと (90分) 【復習】配布資料と講義内容の該当箇所を精査熟読すること (90分)
3	平林 正樹	学生時代を如何に過ごすか① ～「大学で学ぶ意義」を考え、アクションプランを立てよう～	個人ワーク グループディスカッション	【予習】配布資料に目を通しておくこと、大学に入学してきた目的を自らに問いなおしてメモしておくこと (90分) 【復習】配布資料と講義内容の該当箇所を精査熟読すること、グループワークでの気づきをまとめておくこと (90分)
4	平林 正樹	内的キャリアとライフライン・チャート	個人ワークとピア・ワーク	【予習】配布資料に目を通しておき、ライフラインチャートのワークシートを印刷しておくこと (90分) 【復習】配布資料と講義内容の該当箇所を精査熟読すること、ピアワークでの気づきをまとめておくこと (90分)
5	四方 昌利	社会人1年目の現場から学ぶ ～旅行代理店～	ビデオ視聴・個人ワーク・グループワーク	【予習】配布資料に目を通しておくこと (90分) 【復習】本日のグループディスカッションからの学びと気づきをまとめておくこと (90分)
6	四方 昌利	中小企業で働くことのやりがい	ビデオ視聴・個人ワーク・グループワーク	【予習】配布資料に目を通しておくこと (90分) 【復習】本日のグループディスカッションからの学びと気づきをまとめておくこと (90分)
7	四方 昌利	グローバルビジョンを持つために	ビデオ視聴・個人ワーク・グループワーク	【予習】配布資料に目を通しておくこと (90分) 【復習】本日のグループディスカッションからの学びと気づきをまとめておくこと (90分)
8	四方 昌利	グローバルリーダーのキャリア事例に学ぶ	個人ワーク・グループワーク	【予習】配布資料に目を通しておくこと (90分) 【復習】配布資料と講義内容の該当箇所を精査熟読すること (90分)
9	四方 昌利	計画された偶発性 —キャリアのデザインと変化	個人ワーク・グループワーク	【予習】配布資料に目を通しておくこと (90分) 【復習】配布資料と講義内容の該当箇所を精査熟読すること (90分)
10	道谷 里英	自己理解の3ステップ① —気になる「問題」は何か	個人ワークとグループワーク	【予習】あなたが気になる社会で起きている「問題」(身近なことからグローバル視点まで何でも可)について5個以上書き出し、それらのうち最も気になることについて新聞やニュースなど情報を集めて授業に臨むこと (90分) 【復習】講義を通じて気づいた自己の側面についてまとめること (90分)
11	道谷 里英	自己理解の3ステップ②	個人ワークとグルー	【予習】自分の強みをキャリアポートフォリ



科目名	キャリアデザインII (応用)	授業形態	講義	
英語科目名	Career Design II	開講学期	2022年度前期	
対象学年	2年	単位数	2単位	
代表教員	道谷 里英	ナンバリング	5002	
担当教員	道谷 里英			
授業概要				
全体内容	グローバル化する社会の中でのキャリアデザインの考え方を理解した者に、実際にキャリアデザインの技法を使いながら、自らのキャリアデザインを考えてもらい、大学生活における今後の生き方、働き方や学びの方針を立ててもらいます。また、実際の社会人を授業に招いたり、自分たちが関心のある商品やサービスについてディスカッションを行うことを通じて、現在の社会で求められる能力についての理解を深めていきます。将来、世界で活躍できる組織人として必須の様々な人々との協働能力をあわせて高めるために、孤立した作業とせず、協働的な学習方法を取り入れます。			
到達目標	キャリアデザインの知識だけでなく、それを自ら実際に行動に移す訓練を行います。受講を通じて以下の力を発達させます。 1. 働くことにまつわる基本的な知識（労働法、業界の分類、会社という組織など）を理解する。 2. 多様な場で働く社会人による講義を通じて、働く意味ややりがい、求められる能力を理解する。 3. 自分自身のキャリアデザインの力を点検し、これからの学生生活で身につける力や取り組むべき課題を把握する。 4. これからの学生生活での目標を明確化し、行動計画を立てる。 5. グループ活動を通じて、自己と他者の違いを生かしながら、協働で問題解決を図るために必要な力を理解する。			
授業の位置づけ	キャリア支援プログラム科目			
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	【関連するディプロマポリシー (DP)】 DP① グローバル化が進む国際社会における人間とその社会的、文化的な営みを包括的に理解するため、自然と人間、生命と健康、人間と社会、世界と日本など国際教養に関わる広範な知識を習得し、それらを統合し、活用する能力			
履修上の注意、履修要件	自分の意見をまとめ、それを表現し、討論に参加する積極的な姿勢を重視します。多忙な社会人を授業にお招きします。集中して話を聴き、積極的に質問を行ってください。 ※受講者数が多い場合は、キャリアデザイン1の受講生を優先します。			
成績評価の方法				
評価方法	毎回のリアクションペーパー（50％）とレポート課題（50％：3種類）を総合して評価します。			
評価基準	1. 働くことにまつわる基本的な知識（労働法、業界の分類、会社という組織など）を理解し、説明することができるか。 2. 自分自身のキャリアデザインの力を点検し、これからの学生生活で身につける力や取り組むべき課題を明確にすることができるか。 4. これからの学生生活での目標を明確化し、行動計画を立てることができるか。			
試験・課題等に対するフィードバック方法				
期限内に提出されたレポートについては、授業の最終回にフィードバックを実施する。				
テキスト				
参考文献				
講演と討論を重視する演習形式を取り入れるため、あらかじめ指定しませんが、随時指定するテキストを参考にしてください。資料を配布することがあります。				
その他				
連絡先・オフィスアワー	オフィスアワーは月曜5限、水曜1～2限です。研究室は第2教育棟7階で学生が入ることができないため、必ずメールでアポイントを取ってください。r-michitani@juntendo.ac.jp			
担当教員の実務経験	民間企業での営業、人事、社内カウンセラー経験（計約16年）あり。			
備考				
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法※	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	道谷 里英	【オリエンテーション】 ・授業計画の理解 ・産業構造の変化が仕事にもたらす変化 ・21世紀の働き方と求められるスキル ・ソフトスキルのセルフアセスメント	講義とグループワーク	【予習】90分 これまでの学生生活を振り返り、成長したと思えることと今後の課題と思えることをまとめてくること。 【復習】90分 授業で紹介された文献やwebサイトを読み、これからの学生生活で身につけておく力と現状の自分の力のギャップを認識すること。
2	道谷 里英	【社会と仕事】 ・ビジネスを知るための視点を学ぶ ・企業の採用基準について理解を深める ・グループディスカッション	講義とグループワーク	【予習】90分 日頃の生活や学びを通じて関心をもった商品、サービスなどを調べ500字程度でまとめて持参すること。裏付けとなる新聞記事や

				webサイトも明示すること。 【復習】90分 授業を受けて得た知識をもとに、事前課題とした仕事研究をさらに深化させること。第12回で発表してもらいます。
3	道谷 里英	<b>【仕事と自分】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職業の三要素</li> <li>・経済的価値と精神的価値</li> <li>・あなたにとっての報酬の意味</li> <li>・グループディスカッション</li> </ul>	講義とグループワーク	<b>【予習】90分</b> 働く場を選ぶとき自分が何を重視しているか（重視したいか）を考えてくる。その際、世論調査などを参考にすること。参考文献情報は授業で教示する。 <b>【復習】90分</b> ディーセントワークを実現するために今後企業が取り組むべきことや、働く人たち自身がなすべきことについて自身の考えをまとめること。
4	道谷 里英	<b>【雇用されて働く】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・労働法のおさらい</li> <li>・雇用契約とは何か</li> <li>・働き方改革が目指すもの</li> </ul>	講義とグループワーク	<b>【予習】90分</b> 「アルバイト社員は年次有給休暇を取得できるか。取得するためにはどうするか。」を調べ、自分の考えをまとめてくること。 <b>【復習】90分</b> 自分が気になる企業や職業がどのような基準で報酬を決定しているか、また可能であれば平均年収を調べること。
5	道谷 里英	<b>【社会人による講義①】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会や企業が求める人材についての理解を深める</li> </ul>	講義	<b>【予習】90分</b> 社会人ゲストに関連する仕事の情報を事前に収集しておくこと。 <b>【復習】90分</b> ゲストの話聞いて学んだことや事前の情報収集との違いについてまとめること。
6	道谷 里英	<b>【ディスカッション】</b> 社会人による講義を受けて、提示されたテーマについてディスカッションを行い発表する。	講義とグループワーク	<b>【予習】90分</b> 社会人から提示されたテーマに基づいて情報収集を行い、自分の考えをまとめること。 <b>【復習】90分</b> グループで得られた結論とその過程を振り返り、より良い結論を得るために自分がどのように貢献したかを振り返ること。
7	道谷 里英	<b>【社会人による講義②】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会や企業が求める人材についての理解を深める</li> </ul>	講義	<b>【予習】90分</b> 社会人ゲストに関連する仕事の情報を事前に収集しておくこと。 <b>【復習】90分</b> ゲストの話聞いて学んだことや事前の情報収集との違いについてまとめること。
8	道谷 里英	<b>【ディスカッション】</b> 社会人による講義を受けて、提示されたテーマについてディスカッションを行い発表する。	講義とグループワーク	<b>【予習】90分</b> 社会人から提示されたテーマに基づいて情報収集を行い、自分の考えをまとめること。 <b>【復習】90分</b> グループで得られた結論とその過程を振り返り、より良い結論を得るために自分がどのように貢献したかを振り返ること。
9	道谷 里英	<b>【社会人による講義③】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会や企業が求める人材についての理解を深める</li> </ul>	講義	<b>【予習】90分</b> 社会人ゲストに関連する仕事の情報を事前に収集しておくこと。 <b>【復習】90分</b> ゲストの話聞いて学んだことや事前の情報収集との違いについてまとめること。
10	道谷 里英	<b>【社会人へのインタビュー共有とディスカッション】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な社会人のキャリアから学ぶ（情報収集結果の共有）</li> <li>個人別に発表し、質疑応答</li> </ul>	講義とグループワーク	<b>【予習】90分</b> 事前に社会人にアポイントをとり、インタビューを行い、その結果をまとめて持参すること（レポート課題①）。 <b>【復習】90分</b> 他の受講生の発表を聞くことで得られた情報をもとに、さらに必要な情報を収集すること。
11	道谷 里英	<b>【これからの学生生活】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・先輩のキャリアデザイン実践から学ぶ～就活を終えた先輩</li> </ul>	講義とグループワーク	<b>【予習】90分</b> これからの学生生活の過ごし方について気になること、不安なことなどを整理し、先輩へ



※ アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	グローバルキャリアデザインI	授業形態	講義
英語科目名	Understanding Global Careers I	開講学期	2022年度前期
対象学年	3年	単位数	2単位
代表教員	平林 正樹	ナンバリング	5003
担当教員	平林 正樹		
授業概要			
全体内容	<p>当科目は、以下の柱で構成されています。</p> <p>①企業や組織とは、何を指してどのような考えに基づいて行動する組織体なのかについて概要を知る。</p> <p>②まだ触れたことのない「仕事（職種）」の現実を知り、これからのキャリアについて視野を広げて考えてみる。</p> <p>③実社会で活躍する現役のビジネス・パーソンをお迎えして、それぞれのゲスト講師が経験されてきた業界、仕事、そしてご自身のキャリアについての生の声をお話しいただく。</p> <p>当科目の受講により、「環境適応業」としての企業が抱える課題やものの考え方を知るとともに、社会環境の変化に柔軟に対応しながら勇気をもって一歩踏み出すことができるようになることをめざします。</p> <p>近い将来に企業や団体への就職を目指す方はもちろん、公務員・教員を志望する方にとっても世の中を知る大きな機会となることでしょう。</p>		
到達目標	<p>1. 企業のものの見方、考え方をすることができる。</p> <p>2. 職業社会についての具体的な理解を深めることができる。</p> <p>3. ビジネス・パーソンとして社会に出るにあたって必要な心構えを身につけることができる。</p> <p>この授業をとおして、皆さん自身が自分のキャリアを自らの意志によってその一歩を踏み出せるようになることが目標です。</p>		
授業の位置づけ	キャリア支援プログラム科目		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	<p>【関連するディプロマポリシー（DP）】</p> <p>DP① グローバル化が進む国際社会における人間とその社会的、文化的な営みを包括的に理解するため、自然と人間、生命と健康、人間と社会、世界と日本など国際教養に関わる広範な知識を習得し、それらを統合し、活用する能力</p> <p>DP② 自分とは異なる人間や文化を理解しようと心を開き、多様性を尊重し、寛容さを持って相互交流を図ることのできる能力</p> <p>DP③ 母語そして外国語でのコミュニケーション能力を駆使し、多様な人々と繋がり、自らの考えを論理的に説明し、相互の関係を築く能力</p> <p>DP④ グローバル市民として活躍するための基盤となる国際的な教養に加え、文化を超えて活躍できる専門性（グローバル社会、異文化コミュニケーション、グローバルヘルスサービス領域）を備え、人類が直面する問題を発見し、解決策を探る多面的かつ柔軟な思考力と行動力</p>		
履修上の注意、履修要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎回、リアクション・ペーパーをJPASSにて提出することを求めます。</li> <li>・後期に開講する「グローバルキャリアデザインII」とペアの科目です。連続して履修することで、理解がさらに深まります。</li> </ul>		
成績評価の方法			
評価方法	リアクション・ペーパーの提出による平常点（75%）、期末レポート（25%）を統合して評価する。		
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各回の授業から、学びを得たこと、気づきがあったこと、今後のキャリアに参考にしたいことなどを適切な文章にして言語化できる。</li> <li>・現役ビジネスパーソンのキャリアを聴くことから、自らのこれからのキャリアをどのように歩むべきか、アクション・プランにまで具体的に落とし込むことができる。</li> </ul>		
試験・課題等に対するフィードバック方法			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎回のリアクション・ペーパーについては、GoogleClassroomを活用してフィードバックする。</li> <li>・全員に共有すべきリアクションについては、次回の授業初めの時間に解説を加える。</li> <li>・期末レポートについては、採点終了後にGoogleClassroomにてフィードバックする。</li> </ul>			
テキスト			
特になし			
参考文献			
参考文献は、授業中に適宜紹介します。			
その他			
連絡先・オフィスアワー	<p>オフィスアワー</p> <p>【前期】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・火曜4限、水曜3限、金曜2～4限</li> </ul> <p>【後期】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・火曜3～4限、水曜3限、金曜4限</li> </ul> <p>※他の時間でも対応可能な場合がありますので、前日までにメールにて連絡をいただくと助かります。</p> <p>メールアドレス： m-hirabayashi@juntendo.ac.jp</p>		
担当教員の実務経験	民間企業における営業職（17年間）および人事職（18年間）での職務経験あり。		
備考			



授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	平林 正樹	オリエンテーション 外的キャリアと内的キャリア		【予習】配布資料に目を通しておくこと(90分) 【復習】学びと気づきをまとめりアクション・ペーパーを提出する(90分)
2	平林 正樹	企業とはどんなところか		【予習】配布資料に目を通しておくこと(90分) 【復習】学びと気づきをまとめりアクション・ペーパーを提出する(90分)
3	平林 正樹	企業はどのような人材を求めているのか		【予習】配布資料に目を通しておくこと(90分) 【復習】学びと気づきをまとめりアクション・ペーパーを提出する(90分)
4	平林 正樹	「経営理念」と「経営戦略」		【予習】配布資料に目を通しておくこと(90分) 【復習】学びと気づきをまとめりアクション・ペーパーを提出する(90分)
5	平林 正樹	【動画視聴】 「販売」という仕事（百貨店で働く）	講義+グループディスカッション	【予習】業界と職種について、事前に調べておく(90分) 【復習】グループ・ディスカッションを振り返り、学びと気づきをまとめりアクション・ペーパーを提出する(90分)
6	平林 正樹	【動画視聴】 「企画」という仕事（化粧品メーカーで働く）	講義+グループディスカッション	【予習】業界と職種について、事前に調べておく(90分) 【復習】グループ・ディスカッションを振り返り、学びと気づきをまとめりアクション・ペーパーを提出する(90分)
7	平林 正樹	【動画視聴】 「SE」という仕事（IT業界で働く）	講義+グループディスカッション	【予習】業界と職種について、事前に調べておく(90分) 【復習】グループ・ディスカッションを振り返り、学びと気づきをまとめりアクション・ペーパーを提出する(90分)
8	平林 正樹	【動画視聴】 「地域密着型金融」という仕事（信用金庫で働く）	講義+グループディスカッション	【予習】業界と職種について、事前に調べておく(90分) 【復習】グループ・ディスカッションを振り返り、学びと気づきをまとめりアクション・ペーパーを提出する(90分)
9	平林 正樹	【動画視聴】 開発者の構想力と行動力（研究・開発職の仕事）	講義+グループディスカッション	【予習】業界と職種について、事前に調べておく(90分) 【復習】グループ・ディスカッションを振り返り、学びと気づきをまとめりアクション・ペーパーを提出する。次回の講師に対する質問を考える(90分)
10	平林 正樹 （招聘講師担当予定）	【ゲスト講師】 モノづくり中小企業の「海外営業職」として働く	ゲスト講師による講義	【予習】配布資料に目を通しておくこと(90分) 【復習】講義内容を振り返り学びと気づきをまとめておく、次回の講師に対する質問を考える(90分)
11	平林 正樹 （招聘講師担当予定）	【ゲスト講師】 航空自衛隊で働く（順大OB）	ゲスト講師による講義	【予習】配布資料に目を通しておくこと(90分) 【復習】講義内容を振り返り学びと気づきをまとめておく。次回の講師に対する質問を考える。(90分)
12	平林 正樹 （招聘講師担当予定）	【ゲスト講師】 起業する（PRプロデューサー）	ゲスト講師による講義	【予習】配布資料に目を通しておくこと(90分) 【復習】講義内容を振り返り学びと気づきをまとめておく。次回の講師に対する質問を考える。(90分)
13	平林 正樹 （招聘講師担当予定）	【ゲスト講師】 大手企業を退職して経営コンサルタントとして働く	ゲスト講師による講義	【予習】配布資料に目を通しておくこと(90分) 【復習】講義内容を振り返り学びと気づきをまとめておく。次回の講師に対する質問を考える。(90分)



科目名	グローバルキャリアデザインII	授業形態	講義
英語科目名	Understanding Global Careers II	開講学期	2022年度後期
対象学年	3年	単位数	2単位
代表教員	平林 正樹	ナンバリング	5004
担当教員	平林 正樹		
授業概要			
全体内容	<p>当科目は、以下の柱で構成されています。</p> <p>①企業や組織が「ヒト」という経営資源をどのように活かそうとしているのかについて、概要を知る。</p> <p>②実社会で活躍する現役のビジネス・パーソンをお迎えして、それぞれのゲスト講師が経験されてきた業界、仕事、そしてご自身のキャリアについての生の声をお話しいただく。</p> <p>③上記を受けて自らの今後のキャリアについて考えるとともに、アクション・プランを作る。</p> <p>当科目の受講により、「環境適応業」としての企業が抱える課題やものの考え方を知るとともに、社会環境の変化に柔軟に対応しながら勇気をもって一歩踏み出すことができるようになることをめざします。</p> <p>近い将来に企業や団体への就職を目指す方はもちろん、公務員・教員を志望する方にとっても世の中を知る大きな機会となることでしょう。</p>		
到達目標	<p>1. 企業のものの見方、考え方を知ることができる。</p> <p>2. 職業社会についての具体的な理解を深めることができる。</p> <p>3. ビジネス・パーソンとして社会に出るにあたって必要な心構えを身につけることができる。</p> <p>この授業をとおして、皆さん自身が自分のキャリアを自らの意志によってその一歩を踏み出せるようになることが目標です。</p>		
授業の位置づけ	キャリア支援プログラム科目		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	<p>【関連するディプロマポリシー (DP)】</p> <p>DP① グローバル化が進む国際社会における人間とその社会的、文化的な営みを包括的に理解するため、自然と人間、生命と健康、人間と社会、世界と日本など国際教養に関わる広範な知識を習得し、それらを統合し、活用する能力</p> <p>DP② 自分とは異なる人間や文化を理解しようと心を開き、多様性を尊重し、寛容さを持って相互交流を図ることのできる能力</p> <p>DP③ 母語そして外国語でのコミュニケーション能力を駆使し、多様な人々と繋がり、自らの考えを論理的に説明し、相互の関係を築く能力</p> <p>DP④ グローバル市民として活躍するための基盤となる国際的な教養に加え、文化を超えて活躍できる専門性（グローバル社会、異文化コミュニケーション、グローバルヘルスサービス領域）を備え、人類が直面する問題を発見し、解決策を探る多面的かつ柔軟な思考力と行動力</p>		
履修上の注意、履修要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎回のリアクション・ペーパーをGoogle Classroomにて提出することを求めます。</li> <li>・前期に開講する「グローバルキャリアデザインI」をあらかじめ履修した後に当科目を連続して履修することで、理解がさらに深まります。</li> </ul>		
成績評価の方法			
評価方法	各回のリアクション・ペーパー（75%）、期末レポート（25%）を統合して評価する。		
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各回の授業から、学びを得たこと、気づきがあったこと、今後のキャリアに参考にしたいことなどを適切な文章にして言語化できる。</li> <li>・現役ビジネスパーソンのキャリアを聴くことから、自らのこれからのキャリアをどのように歩むべきか、アクション・プランにまで具体的に落とし込むことができる。</li> </ul>		
試験・課題等に対するフィードバック方法			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎回のリアクション・ペーパーについては、GoogleClassroomを活用してフィードバックする。</li> <li>・全員に共有すべきリアクションについては、次回の授業初めの時間に解説を加える。</li> <li>・期末レポートについては、採点終了後にGoogleClassroomにてフィードバックする。</li> </ul>			
テキスト			
特になし			
参考文献			
参考文献は、授業中に適宜紹介します。			
その他			
連絡先・オフィスアワー	<p>【前期】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・火曜4限、水曜3限、金曜2～4限</li> </ul> <p>【後期】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・火曜3～4限、水曜3限、金曜4限</li> </ul> <p>※他の時間でも対応可能な場合がありますので、前日までにメールにて連絡をいただくと助かります。</p> <p>メールアドレス： m-hirabayashi@juntendo.ac.jp</p>		
担当教員の実務経験	民間企業における営業職（17年間）および人事職（18年間）での職務経験あり。		
備考			

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	平林 正樹	オリエンテーション ダイバーシティ&インクルージョンについて考える		【予習】配布資料に目を通しておくこと(90分) 【復習】学びと気づきをまとめりアクション・ペーパーを提出する(90分)
2	平林 正樹	企業の採用・育成・リテンションを考える		【予習】配布資料に目を通しておくこと(90分) 【復習】学びと気づきをまとめりアクション・ペーパーを提出する(90分)
3	平林 正樹	新規学卒者の採用から定着まで		【予習】配布論文を読み、コメントをA4 x 1枚程度にまとめておくこと(90分) 【復習】学びと気づきをまとめりアクション・ペーパーを提出する(90分)
4	平林 正樹	日本の労働経済事情と労働文化		【予習】配布資料に目を通しておくこと(90分) 【復習】学びと気づきをまとめりアクション・ペーパーを提出する(90分)
5	平林 正樹	なにが若者の早期離職をもたらすのか	講義+グループディスカッション	【予習】配布論文を読み、コメントをA4 x 1枚程度にまとめておくこと(90分) 【復習】学びと気づきをまとめりアクション・ペーパーを提出する(90分)
6	平林 正樹	「ブラック企業」について考える		【予習】配布資料に目を通しておくこと(90分) 【復習】学びと気づきをまとめりアクション・ペーパーを提出する(90分)
7	平林 正樹	【事例研究】 「いい会社」とはなにか		【予習】配布資料に目を通しておくこと(90分) 【復習】講義内容を振り返り学びと気づきをまとめておく。次回の講師に対する質問を考える。(90分)
8	平林 正樹 (招聘講師担当予定)	【ゲスト講師】 中国で働く	ゲスト講師による講義	【予習】配布資料に目を通しておくこと(90分) 【復習】講義内容を振り返り学びと気づきをまとめておく。次回の講師に対する質問を考える。(90分)
9	平林 正樹 (招聘講師担当予定)	【ゲスト講師】 外資系企業の採用部門で働く	ゲスト講師による講義	【予習】配布資料に目を通しておくこと(90分) 【復習】講義内容を振り返り学びと気づきをまとめておく。次回の講師に対する質問を考える。(90分)
10	平林 正樹 (招聘講師担当予定)	【ゲスト講師】 モンゴルで働く	ゲスト講師による講義	【予習】配布資料に目を通しておくこと(90分) 【復習】講義内容を振り返り学びと気づきをまとめておく。次回の講師に対する質問を考える。(90分)
11	平林 正樹 (招聘講師担当予定)	【ゲスト講師】 アミューズメント業界で働く	ゲスト講師による講義	【予習】配布資料に目を通しておくこと(90分) 【復習】講義内容を振り返り学びと気づきをまとめておく。次回の講師に対する質問を考える。(90分)
12	平林 正樹 (招聘講師担当予定)	【ゲスト講師】 採用支援業界の仕事	ゲスト講師による講義	【予習】配布資料に目を通しておくこと(90分) 【復習】講義内容を振り返り、学びと気づきをまとめておく(90分)
13	平林 正樹	【グループディスカッション】 ゲスト講師からの気づき・学びを今後のキャリアに活用してみる。	グループディスカッション	【予習】これまでの講義を振り返り、学びと気づきをレポートにまとめる(90分) 【復習】グループ・ディスカッションを振り返り、学びと気づきをまとめておく(90分)
14	平林 正樹	働くことの心構えと準備		【予習】自らを振り返り、事前に質問を提出する(90分) 【復習】講義内容を振り返り、学びと気づきをまとめておく(90分)

